

中江藤樹・心のセミナーから

『本気になれば人生が変わる』

「想像を超える未知」

株式会社 morich 代表取締役
ALL Round erAgent

森本 千賀子さん

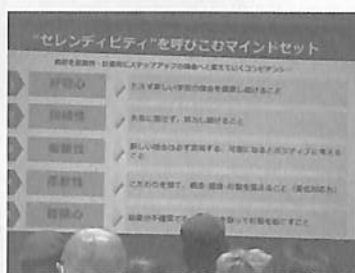
【前号に続いて後半です。】



私が五十三年間、こたわってきたことは、NOと言わないということです。例えば、「藤樹会のこのセミナーに出てください」と依頼されたり、誘われたりした時、スケジュールが合わないなど、私より適任の方がおられるなどと断ることは簡単ですが、そんな場合に私は代替案を出すなどどうやったらできるかを考えるようにしてきました。

「計画的偶発性理論」というアメリカのスタンフォード大学の教授、克蘭ボルツ先生の理論があります。簡単に言うと人生の約8割は自分が予想もしなかった偶然により決定されるということです。私の場合、たまたま視ていたスチュワードス物語が大学選別に、スクールウォーが大学時代ラグビー部のマネージャーに、そして現在させていただいてるラグビーフットボール協会の理事に繋がっています。偶然出

会った人が、結婚相手になり、親友になることもあります。たまたま読んだ本が職業選別に影響することもあります。そういう偶然が人生の8割に影響しているということです。次男が石垣島に行くことになったのも、たまたま友達に誘われて「耕せにつぼん」の代表のセミナーに行ったことがきっかけです。「計画的偶発性理論」では、serendipity（掘り出し物を偶然見つける能力）が大切で、5つあります。



一つ目は好奇心です。絶えず新しい学習の機会を探し続けるということです。皆さんはものすごい量の情報を浴びています。一年間

にその三割が時代遅れになり常に新しい情報をインプットし続けないと5年先には15%しか使えなくなると言われています。リクルート時代に、ユニクロの柳井社長から「カバンの中に何が入っている？」と聞かれ、「財布とハンカチと…」と答えたら「本は入っていないか。書籍」と向き合わないビジネスパーソンはトレーニングしないアスリートと一緒や」と言われました。それから毎日十分でも十五分でも読書を始めま

した。そして「アウトプットもしろ。するとスペースができ、また新しいインプットができる。繰り返すことが大事だ」と言われました。今はYoutubeとかTikTokとかTwitter(現X)といったものがあり発信するものもそんなに難しくはなくなりました。

二つ目が持続性です。継続は力なりとか言われます。能の作家・演出家であった世阿弥が、『守破離』という言葉を残しています。山の頂上にいきなり行くことは難しく、階段を一段ずつ登るようにしなければならぬという意味です。逆に言う階段を一段ずつ登って行けば必ず山の頂上に行けるということです。私は「学びのノンステップ（学ぶことを習慣にしましょう）」と言っています。たとえば、藤樹さんの教えを身に付けたいとします。最初はよくわからない、でも毎日学びを続けると頭でわかるようになります、さらに続けると意識すれば藤樹さんの言っている行動ができるようになります、もつと続けていくと意識しなくても行動できる、習慣になります。学びを習慣にするには、毎日学び続けることです。平野秀典さんの「一パーセントの自分革命」という本に「小さな行動力で一年後にすごいところにとどろける」と書かれています。計算すると昨日より今1%努力をしたら、半年後には七倍一年後には三十

七倍の所にたどり着けることになると思います。私も出させてもらったプロフェッショナルという番組で、市川海老蔵さんは、プロフェッショナルとは「昨日の自分を超越することを継続する人だ」と言っています。

三つ目が楽観性です。ポジティブに考えることです。これは私が26歳の時にあるセミナーに出てから続けてきたことです。Affirmation（自分に宣言する）ことです。単語帳でもノートでもいいので、なりたいたいと思う自分を、例えば「私はいつも幸せな気持ちだ」、「私はすべてうまくいく」、「私はみんなから信頼されている」、「私は素敵な人生を過ごしている」のように具体的に書いて、見るところに貼る、言葉にして耳で聞くようにすると脳の奥の脳幹という無意識に関わる所に叩き込むことになり、意識せずにそう思えるようになります。脳をすり替えるということです。あることを「ピンチだ」と思う人もいれば、「チャンスだ」と思う人もいます。どうせなら、チャンスだと思える方が心は健全です。そう思えるように脳を、思考をすり

